

# 第16回北区キンボールスポーツ交流大会（KITA-CUP2023） （大会要項）

目的	北区のキンボールスポーツの普及と発展を図ると共に、スポーツを楽しみ、健康で心豊かな生活に、寄与する生涯スポーツの実現を目指します。
主催	北区スポーツ推進委員協議会
共催	東京都北区
後援	北区キンボールスポーツ連盟
会場	北区滝野川体育館（北区西ヶ原2-1-6） JR上中里駅下車 徒歩5分、地下鉄南北線西ヶ原駅下車 徒歩5分 <a href="https://kita-tai.com/">https://kita-tai.com/</a>
開催日	令和5年11月26日（日）
受付開始	午前 9:00 より（予定）
大会会長	葛西 大 北区スポーツ推進委員協議会会長
大会委員長	森健太郎 北区スポーツ推進委員協議会キンボールスポーツ委員会委員長
審判長	根本正彦 北区スポーツ推進委員協議会キンボールスポーツ委員会委員
参加資格	小学校4年生以上のキンボールスポーツ愛好者

## 競技種別と募集チーム数

- ミックス（中学生以上のキンボール愛好家、片手ヒット）10チーム
- チャレンジB（中学生以上のチーム、両手ヒットのみ）15チーム
- ジュニア（小学生4～6年生で編成、両手ヒットのみ）15チーム

**\*申し込み状況により、チーム数は変動します。**

チーム人数	1チーム当たり4名以上6名まで（監督・コーチを除く）
競技方法	日本キンボールスポーツ協会規則を参考にした <u>KITA-CUP ルール</u> で行ないます。
試合形式	1チームが3試合を行ない、得点上位のチームで準決勝及び決勝戦を行ないます。

表彰 競技種別ごとに1位・2位・3位

申し込み方法 右のQRコードからの申し込みを基本とします。  
QRコードからの申し込みができない方は、  
ホームページのFAX用紙での申込も可能です。



QRコード

期限 令和5年9月29日（金）（厳守）

オンラインでの申し込みはフォームの送付まで完了した段階で、申し込み完了となります。ご注意ください。

FAX申し込みは（北区地域振興部スポーツ推進課）FAX03-5390-1137 まで参加申込書をお送りください。

★負担軽減の為にできるだけオンラインでの申し込みをお願いいたします。

★受付締切一週間過ぎて受付確認が届かない場合はご連絡願います。

**申込後の流れ** 受付終了後、参加チーム数を調整し、参加の可否、当日の受付時間等の結果をメールまたは郵送で10月20日をめぐりに「抽選結果」をご連絡いたします。

**メンバー変更** 抽選結果後のメンバー変更は、11月10日までとし、それ以降の変更は当日とします。

**参加費** ミックス、チャレンジB 1チーム3,000円（保険料を含む）

ジュニア 1チーム2,000円（保険料を含む）

・参加費は当日現金でお支払いください。

**傷害保険** 主催者側で、大会参加者全員の傷害保険に加入します。  
参加中の事故には、応急処置を致しますが、それ以外の責任は負いかねます。

**大会スケジュール** 午前中はジュニアの試合、午後は大人（中学生以上）の試合を行います。

9時00分～ジュニアの受付開始

10時00分～交流大会スタート

12時00分～午後の受付開始

16時40分終了予定

開会式、表彰式、閉会式は簡素化し、実施します。

スケジュールは、進行の都合により、変更する場合があります。

競技案内等は、場内アナウンスでお知らせいたします。

次の試合のチームは、観客席で待機してください。

**試合方式** ※ 組合せは、主催者が決定します。

※ジュニアとフレンドリーBの試合のカラーは、英語読みのピンク、グレー、ブラックで行います。

※ ミックスはフランス語読みのブル、グリ、ノアールで行います。

※ 予選・準決勝・決勝戦共に、全試合”ピンク”ないし”ブル”からヒットインします。

※ 試合は1ゲーム7分1ピリオド（決勝戦も7分1ピリオド）で行ないます。

※ 各ゲームの順位に従って、ゲームポイントが与えられます。

※ 同時にスポーツマンシップ・ポイントが与えられます。

※ 決勝、又は、準決勝に進むチームを定める際にポイントが同点の場合は、各試合で「10点」を獲得した回数の多いチームを上位とします。それも同数の場合は、「7点」の多い方を上位とします。それでも同点の場合は、主催者が別途順位決定方法を定めます。

※ 決勝で1位が同点の場合は、3点先取で順位を定めます。

※ ミックスは1位と2位が決勝に進み、3位から5位は下表の組合せで準決勝を行います。準決勝で同点の場合は、予選の上位を優先します。

※ チャレンジBとジュニアは1位が決勝に進み、2位～7位は下表の組合せで準決勝を行います。準決勝で同点の場合は予選上位を優先します。

準決勝組合せ表

カテゴリー	組合せ	予選成績	決勝のカラー
ミックス	準決勝	3位、4位、5位	1位通過チームが決勝でブラック
チャレンジB	① 準決勝	2位、5位、7位	1位通過チームが決勝でグレー
ジュニア	② 準決勝	3位、4位、6位	1位通過チームが決勝でブラック

## ゲームポイント

順位	ゲームポイント			
1位	10点	同得点 各7点	10点	同得点 各6点
2位	6点		同得点 各4点	
3位	2点	4点	同得点 各4点	

## スポーツマンシップ・ポイント

マイナー警告なしで5点、マイナー警告1回で4点、マイナー警告2回で1点、  
マイナー警告3回以上で0点。

(ゲームポイントへの反映は起こりません)

## 競技上の注意事項

- ※ ゲームに参加中のマスクの着用は個人の判断にお任せします。
- ※ プレーの前後に審判が手指の消毒を行いますのでご協力ください。
- ※ チームの責任者の方は、交流大会参加者の方々に、競技ルールを事前に説明しておいて下さい。
- ※ プレーヤーの交代は、プレーが止まった時(反則時、得点時など)に行ないます。
- ※ 審判に対するクレームは受け付けません。
- ※ スポーツマンシップを遵守して、他のチームに対するヤジは、謹んで下さい。注意しても聞き入れられない場合は、会場から出て頂く場合があります。
- ※ ベンチ入りできるのは、チーム登録されている選手、監督とコーチとします。
- ※ ベンチには、カメラ、ビデオカメラ等の持込はできますが、応援グッズはご遠慮願います。

第16回 北区キンボールスポーツ交流大会 ルール

反 則		反 則 概 要	ジ ユ ニ ア	チ ャ レ ン ジ B	ミ ツ ク ス
ト ッ ク	コールミス	「オムニキン」や「カラー」をコールしない。 自分のチームのカラーをコールする。 コールの音が小さく、審判が聞き取れない。 一番最初の選手が触れる前にコールしてはならない。	×	×	×
	同時コール	「オムニキン」+「カラー」のコールと同時にヒットする。	×	×	×
	トップコール	得点の最も高いチーム以外をコールする。 ただし、残り1分には適応されない。 1回目から反則を取ります。	×	×	×
	コンタクトミス	ヒット時に4人がボールに触れていない。 (ヒットの時に3人で支えていない)	×	×	×
		セットしている味方の身体に当たって明らかに軌道が変化した場合。1)	×	×	×
	ショートヒット	ヒットしたボールが1.8m以上飛んでいない場合。	×	×	×
	ダウンワード ヒット	ヒットしたボールが水平方向から下向きに飛び出し、そのままコートについた場合。	×	×	×
	アウトサイド	ヒットしたボールが直接コート外に落ちた場合。	×	×	×
	トゥワイス	1人のプレーヤーが2回続けてヒットする。	×	×	×
	イリーガル トラベリング	審判が定めた位置から、ボールを2.5m以上移動する。	口頭 注意	×	×
		3人目のプレーヤーが触れて、ボールをコントロール(自分の意思で取り扱える状態のこと)した後故意にボールを2.5m以上移動する。	口頭 注意	×	×
	片手ヒット	両手でヒットしていない。	リ ブ レ イ		○
	イリーガル オフENS	ヒッターが2回ボールをヒットした場合。腰より下でヒットした場合。ボールから1.8m以内で守備の邪魔をした場合。	口頭 注意	口頭 注意	×
5秒ルール	ヒットインのときに、ホイッスルから5秒以内にヒットしない。	口頭 注意	口頭 注意	×	
10秒ルール	1人目がボールに触れてから、10秒以内にヒットしない。	口頭 注意	口頭 注意	×	
レ シー ブ	レシーブミス	ボールが床につく前にレシーブが出来ない。	×	×	×
	アウトサイド	レシーブ後コート外に落ちる。 レシーブ時に体全体(両足など)がコート外にある。	×	×	×
	トラッピング	ボールを両腕等で抱え込んで保持する。 ボールのナイロンカバーや空気挿入口の部分をつまむ。	×	×	×
	イリーガル ディフェンス	ボールから1.8m以内で攻撃の邪魔をした場合。 ボールから1.8m以内に2人以上の守備側プレーヤーいた場合(一人まで)。	口頭 注意	×	×
		ボールから1.8m以内でコールされていないチームがボールに触れ、軌道が変わった時。	リ ブ レ イ	リ ブ レ イ	×
ヒットポイントから2.5m以上離れた位置で、コールされていないチームがボールに触れた時。 ヒットポイントから2.5m以上離れた位置で、選手間同士が接触しプレーの結果に影響した時。 上記の事が審判との間で発生した場合。		リ ブ レ イ	リ ブ レ イ	リ ブ レ イ	

1) 安全を確保し、正しいセットの姿勢を推奨することを目的に頭等に当たったことによる下向き以外の明らかな軌道の変化もコンタクトミスとします。

2) 口頭注意：ここでいう口頭注意は、公式ルールの口頭注意に加えて、故意に5秒ルール、10秒ルールを犯した場合と、故意にイリーガルトラベリングおよびイリーガルディフェンスを行った場合に適応する。

